

# 所沢教育新聞

No. 4  
2021. 7. 15  
《編集・発行》  
所沢市教職員組合  
西新井町23-13  
Tel04-2993-7925  
Fax04-2993-7922



## ついに教員免許更新制度廃止へ

文部科学省は、教員免許に十年の有効期限を設け、更新の際に講習を義務づける「教員免許更新制」を廃止する方針を固めたとの新聞報道がありました。今夏にも廃止案を中央教育審議会に示し、来年の通常国会で廃止に必要な法改正を目指すとのこと。

習を受けなければならないこと、更新にかかる約3万円が自己負担であることなど、受講費用や受講時間について、8割の教員が負担と答えています。(文科省調査による)

さらに更新講習を受け忘れて教壇に立てなくなる「うっかり失効」が各地で起こるなど問題が山積んでいます。

さらには更新講習を受け忘れて教壇に立てなくなる「うっかり失効」が各地で起こるなど問題が山積んでいます。

しかし、未配置問題の大きな要因は、教員を志す若手が減っているからです。それは、教員という仕事に魅力がないからです。四月の所沢教育新聞で紹介した「#教師のバトン」をご覧ください。多くの現場の教員が苦しい声をあげています。更新制を廃止し、教員の負担を減らすことは未配置問題解決の一步前進かもしれません。しかし、今後も教員の労働状況の改善に向けて動いていかなければ、根本的な解決にはならないのではないでしょうか。

また、小学校のプールに初めて入るといふ事もあり、マスクやフェイスシールドをしてではありませんが、教職員が怖がっている子の手を引きながら指導する必要もありました。

6月・7月は、所沢市内での小中学生の感染の情報もありました。



(上) マスク・フェイスシールドごしの指導は大変です  
(下) 子どもたちの笑い声が響くプールはいつのことかしら

11:22 導入のきっかけ

安倍首相の所信表明  
教員免許更新制廃止へ

2007年 第一次安倍改組  
教育再生を自らの内閣の最重要課題に掲げる

安倍首相の所信表明の教育再生会議の要案  
2007年1月20日 産経新聞

目玉  
「ゆとり教育」の見直し 「ダメ教師」の排除

5年・10年研修で不適格教員を審査  
不適格教員の免許は更新しない



今回の制度廃止の理由に注目してみます。理由の一つは教員不足解消です。育休や介護で免許更新ができなかった元教員が免許更新

所教組は、どの子にもゆきとどいた教育をすすめること、教職員がいきいきと働き続けられることを目指して活動しています。そのために所教組と一体となって運動を進めています。

毎年、県教委や市教委との交渉・話し合いを持ち、賃金の引上げや労働条件の改善・教職員定数の改善・長時間労働の解消・休暇等の制度改善・労働安全衛生の体制確立を求めて取り組んでいます。

今年度の市教委との交渉は8月末に行われる予定です。何かお困りことがありましたら、各校の組合員、または「フェイスブック所沢教職員組合並びにツイッター教職員組合」にてご相談ください。

(上) 教員免許更新制導入のきっかけは第一次安倍内閣  
(下) ツイッター「教師のバトン」はブラック教員・学校で大炎上

## コロナ禍での水泳指導 「判断は正しかったのか」

があり、自分が行う水泳指導の中で子どもたちが感染するのではないかと、という不安は消えませんでした。埼玉県内でもコロナ感染予防のため水泳指導を中止した市もあり、所沢教育委員会の判断について疑問が残ります。所沢教職員組合では、コロナがいつ収まるか、まだ見通せない中、様々な課題について保護者や教職員の不安の声を受け止めながら方針を決定していくよう、所沢市教育委員会に引き続き要求していきたいと考えています。